

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第 2 回情報のかけ橋委員会
2. 開 催 日 時	令和 7 年 2 月 19 日(水) 午前 10 時 00 分~12 時 00 分
3. 開 催 場 所	松阪市役所 3 階 理事者控室
4. 出席者氏名	(委員) ※敬称略 <small>副市長</small> 永作友寛、山守一徳、川口正人、酒井由美、中北直子 (事務局) <small>危機管理特命理事 広報広聴課 課長</small> 中西 章、森本康代、岸本大輝、廣田義乃
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市 秘書広報局 広報広聴課 TEL 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 e-mail kouhou.div@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. あいさつ
2. SNS等の運用状況について
3. 広報まつさかについて
 - ・アンケート結果について
 - ・広報コンクール結果について
4. 令和7年度以降広報計画について
5. その他

議事録

別紙

第2回情報のかけ橋委員会 議事録（2月19日開催）

1. あいさつ（永作副市長）

（委員長） 20周年の式典を先日させていただき、無事終えることができました。ちょうど今、令和7年度予算の時期でして過去最高の予算編成になっており、785億7千万円を超える大きな規模となりました。その要因が人件費、扶助費いろいろな福祉関係の予算が大きくなりましたが、財政調整基金という松阪市の貯金がありまして、そちらから約50億円ぐらい入れて予算が成立した状況ではあります。あと、令和7年度に20周年のイベントなどいろいろ計画しております。新聞でも報道がありましたが、LDH（EXILE）とコラボをしてダンスドリームフェスティバルを行い中学生に教えてもらったり、9月には出張なんでも鑑定団を招きまして開催する予定です。また、小学生の提案で鈴の森公園の大きなケヤキにクリスマスツリーをしようということで、その間にマラソンも絡んできますので、盛り上げていこうと思っております。それでは、本日よろしくお願いたします。

2. SNS運用状況についての報告

事務局より、各SNSフォロワー数とチャンネル登録者数を令和7年2月1日現在と令和6年4月1日現在の数値を比較し報告。

3. 広報まつさかについて

（1）アンケート結果について

事務局より、令和6年8月号で実施した広報アンケートの結果を報告。一通り説明したあと意見交換を実施。

（事務局） アンケートの中に、子育て関係をピックアップしてほしいという回答もありました。特集とはちがって、こういったピックアップ記事を連載したり、広報紙の中で市民が参加できるような企画、例えば投稿系などを検討していければと感じました。

- (事務局) あと、ご意見いただきたいのですが、現状36ページあります。見やすくするという観点で、ページの端にインデックスをつくる案はどうでしょうか。
- (委員) ページ数が多い時に中綴じのページは断裁の幅が多く取られてしまうと思います。内のページにいくほど短くなる傾向になるため、断裁のページから3mmあける必要がでてきます。一步間違えて断裁を間違えると大変になってしまいます。36ページぐらいであればさほど気にかけなくてもいいのかなと感じます。
- (委員) 36ページの時はやはり重く感じ、読みごたえがあるなという印象です。決めることができるのであれば、ページ数を一定にするほうがいいのかと思います。
- (委員) 方向性として、今後紙ベースの予算が厳しくなると思います。お知らせのみにして、特集はホームページに移行する案もあると思います。そうすることで、お知らせを大きくしてスペースを設けることで高齢者にも読みやすくなると思います。そういった意味でページ単位ですみ分けして、ページ数カットをしていくこともありだと思えます。
- (委員) QRコードに対応できる世代の内容については、ホームページに移行するっていうのもありだと思えますので、移行できそうな内容を調整していただければと思います。
- (委員) 絵画コンクールの入賞作品というのも大事なことだと思いますが、ホームページへ移行してもいいと思います。
- (委員) 何点かあります。①広報紙が届かないという内容がありましたが、そういった方にも届く方法を考えたほうと思います。②市民が参加できることという内容を受けて提案なんですけど、プレゼント欄を設けるのはどうでしょうか。市内の店舗の紹介にもなるし、参加もしやすいと思います。③配布方法が、自治会に依頼されていると聞いて、パトロールをするということで広報を配布する意味もあると感じました。④あと最後に、大事な

内容は目次のページに載せておくことが大事だと感じました。例えば、救急のときに広報のこのページを見たらわかるというように固定すればどうでしょうか。

(事務局) ①と②の件ですが、自治会に配布依頼をしていますので、未加入の方は現状届かないです。そのかわり、スーパーや地区市民センターなど最寄りに取りに行けるように設置しています。あと、プレゼントの件ですが、他自治体もしているところがありますし、検討していきたいと思います。

(委員) アンケートは市職員の方も回答されているのでしょうか。

(事務局) どなたでも回答できるようにしていますので、職員意見として回答している内容もあります。

(委員) 各課が困っていて、市民のみなさんに協力してほしいことなど掲載してほしいという意見が、職員と市民とで交流案件にもなりそうな感じでおもしろいなと思いました。

(事務局) ご相談というか、ご意見をいただきたいのですが、広報紙で読みにくいとか、見にくいとかそういった意見というのは、非常に少ないです。しかし、永遠と今の状態を引っ張っていくのかというのが難しく、リニューアルのタイミングが難しいです。

(委員) 現状、媒体としてしっかりしているのでこのままでいくのが一番だと思いますが、人件費や物価高が追い付いていかないと思います。このままいってもどこかで10%増とかになってくると思います。先ほどの意見のようにホームページへの移行のような対応をして、ページ数を減らすという対応になってくると思います。4ページを1年減らしてみるとか試してみてもいいのかもしれないです。物価高の波と一緒に、4ページずつ徐々に減らしていくといいかもしれません。

(委員) 配布の希望をとることは難しいですか。

(事務局) 部数を減らすということであれば、単純に紙代は抑えられます。しかし、希望をとって配布となると自治会にもさらに負担にもなってしまいますので、希望制は考えていません。

(事務局) ご意見いただきたいのですが、徐々にページ数を減らすことや、特集記事などを減らすために、市民への事前確認(アンケート)は必要ないでしょうか。

(委員) 今回のアンケートを見ると、特集に対してそこまで執着しているというふうには感じないですが、いずれは移行対象になるでしょうけど、まずはこの中でどれをホームページに移行するのかというところを考えていく感じだと思います。ページ内に一言入れてみたらどうでしょうかね、例えば絵画コンクールはホームページに掲載していますとか。

(事務局) 確かに全く載っていないというのではなくて、ホームページに載っているということを記載して、入口を作ってあげることが大事だと思いました。

(委員) ホームページに移行する精査をしてから、特集という順番でいいと思います。2ページ減ることでお知らせ欄を充実できますよね。

(事務局) ありがとうございます。一度精査する方向で検討していきたいと思います。

(2) 広報コンクール結果について

事務局より、令和6年の広報コンクールの結果を報告。他市の入選作品と比較しながら意見交換を実施。

(委員) 有料広告は今後どうしていきますか。

(事務局) 現状維持で、紙面の空きスペースに入れていきます。ひとつお聞きしたいのですが、1歳になったよの人数や枠配分はいかがでしょうか。

(委員) 人数はそのままでいいと思います。読者を増やす要因にもなるし、祖父母が見て、そのご近所さんが見てというふうに1番読者を増やしやすい内容だと思います。少し小さくしてみるのはいりだと思います。

(委員) 広報まつさかには、キャッチフレーズ(サブタイトル?)みたいなのが無いですね。他市のようにそういうのがあると、分かりやすいし伝わりやすいのかなと思いました。

(事務局) ありがとうございます。キャッチフレーズをつくる際は、募集やアンケートを行ったりして検討していきたいと思います。

4. 令和7年度以降広報計画について

事務局より、「今後の広報まつさか」「松阪市ホームページ」のリニューアル計画を説明。

5. その他

(事務局) 行政情報番組について相談があります。現在テレビ媒体とYouTubeで流していますが、テレビに映す意味というか、ケーブルさんの回線を利用させてもらっている関係上、どこでも見れるということではありません。費用対効果のところは明確にできず、YouTubeで良いといえばそれまでなんです。悩みどころです。かと言って、テレビ放送を無くすというのもどうかと。このあたりご相談させていただきたいです。

(委員) YouTubeだけになるということですか。

(事務局) いずれはそうなるかもしれませんが、松阪市は高齢率が高く、なかなかテレビをやめるというところまで踏み切れない現状です。

(委員) ケーブルさんに委託料を支払われているんですか。

(事務局) 回線使用料として1地区330万円、それが4地区ありますので、1500万円ぐらいです。もちろん他に、機材などの費用がかかっています。

(委員) ホームページ上でYouTubeへのリンクが表示されていると思うので、それがあればケーブルテレビさんはいらなくなるんじゃないでしょうか。

(委員) この前、20周年の企画で市民歌を80歳代90歳代のグループで撮影してもらいました。YouTubeに流れているのですが、行政チャンネルでも放送されると聞きまして案内したんですが、行政放送のボタンがリモコンのチャンネルの中に入っていないので、中々難しいみたいです。こういったところも課題なのかもしれないですね。

(委員) 実は松阪ケーブルテレビの審議員もしています。私もすごく事情が分かります。契約料もしんどいという気持ちもわかります。

あと、見ていただく場合は、どうしてもシニア層に限られてきて番組にもありつけない。ひとつ問題なのが、チャンネルを合わせないといけないということ。しかしすぐにSNSなどに移行することは難しいと思いますので、ハイブリットでしばらくは様子見でどうでしょうか。インスタの閲覧数で効果ができていると感じているので、リールの使用をしてみてもどうでしょうか。

みなさん知りたいのは地域の情報。スマートフォンからみ観ているので動画をストーリーズで流し、今の話題をリンク設定したり、ホームページでYouTubeにリンクさせたりとか、リンクで飛ばすっていうのを実験的にされたらどうかって思います。

懸念していることなんですが、今年松阪市は施行20周年なのに、知らない人がいらっしゃるんですよね。なので、情報が届いていないっていうことは悲しいことですので、発信もケーブルテレビとか行政チャンネルに頼るのではなくて、インスタ、F

acebook、松阪ナビなどツールはどれだけあってもいいと思いますので、強化した方がいいのかなという気はします。

(委員) ケーブルテレビさんにそれだけの委託料を支払っているのであれば、見ていただく努力をしてもらうのもいいかなと思います。病院の待合ではだいたいモニターがあるじゃないですか、見てらっしゃる方も多いし、積極的に地域の情報チャンネルを流してくださいと。病院の待合でNHKや民放を流されるより、ケーブルテレビさんの的にも市内の医師会に働きかけをして、もう少し視聴を増やしていただく努力をしてもらわないと今後続けていけませんよと、引換え条件は必要かもしれません。単に支払っているだけではなく、これだけ払うんですからそちらさんもいくらか必要じゃないですかという積極的なアプローチの仕方を提案してくださいという投げかけをしてから、続けられませんという判断でいいかもしれません。

(委員) 松阪ケーブルテレビさんの発信力にのっかるというか、それをうまく使われたらというのはありますよね。あと、教育的に良いか悪いかわかりませんが、学校の教育現場で給食の時間に流すとか、銀行さんでも放送されているのを見たことがあるんです。いろんな施設とかで見る機会とか触れる機会を増やしていくっていうのをなんとかしたいですね。

(委員) ケーブルテレビ事体も見ている人は少ないですよ。

(事務局) 視聴率をとることができませんので、正確な数値が言えませんが、あまり視聴はよくないと思います。

(事務局) たくさんのご意見頂戴いたしましてありがとうございました。以上で本日の審議会を終了いたします。